



News Release

2018年2月6日
日本カーソリューションズ株式会社

車両管理業務に係わる新たなシステムに基づく新サービス「くるまの番人」の提供開始について

日本カーソリューションズ株式会社（代表取締役社長：野上 誠、以下「NCS」）は、お客様の車両管理業務をクラウド上で一元的に行えるシステムを開発し、ビジネス・プロセス・アウトソーシング（BPO）の新たなサービス「くるまの番人」をリリースすることに致しました。

1. 開発のコンセプト

これまで、オートリース会社は、車両の台帳作成、支払データ集計、メンテナンス管理などのデータ整備等、いわゆる静的情報にフォーカスした法人顧客向け車両管理 BPO サービス（※）を提供してきました。

一方、お客様においては、そのような BPO サービスに含まれていない燃料代金、駐車場代金など車両関連費用のコントロールや、車両管理に関する社内外の申請・申込み手続き、社員の事故や違反にともなうリスクコントロールなど、専門性と経験が必要な様々な業務を実施する必要がありました。近時、このような専門性と経験が必要な業務についても、より一層の効率化や経費節減、更にコンプライアンスや安全運転向上に関するアウトソーシングニーズが高まってきています。

また、お客様の企業合併などに伴う車両管理フローの統一や、レンタカー、カーシェアリングといった車両の利用形態の多様化による管理の複雑化など、新たな課題も発生してきています。

このような、アウトソーシングニーズや課題に応えるため、NCS では、従来のサービス範囲を拡大し、クラウド上でシステム提供を行い、共通プラットフォームでの静的情報の可視化、車両の導入、点検、再リース、更新、処分といったライフサイクル上発生する各種の社内外での申請・承認・申込等の業務フローの進捗情報等の動的情報をデータ管理し、ステータスの可視化、期日管理といった機能も提供していくとともに、併せて、BPO サポートデスクを拡充させることにしました。

※車両管理 BPO サービス

車両に関連する、社内の総務、人事、経理等でのデータの入出力（インプット・アウトプット）業務を外部の専門企業に委託すること。

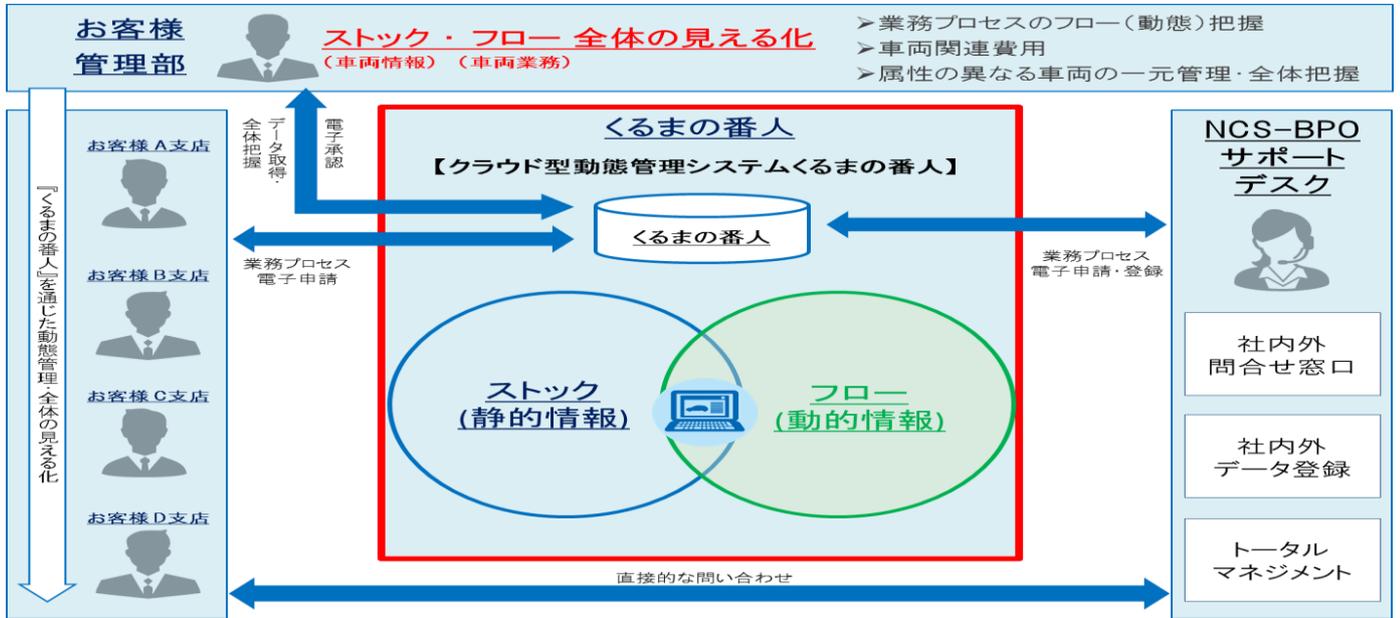
2. 今後の展開

お客様の業務フロー等の動的情報を管理する動態管理システムをクラウド上で提供することはオートリース業界初であり、NCS では、業界最高クラスの BPO サービスを提供することで、お客様の車両管理業務の大幅な軽減を実現し、車両管理にかかわるサービス品質を高め、業務効率化、コスト削減、安全運行に一層貢献してまいります。

3. サービス開始までのスケジュール

- (1) 2018年3月中予定 : 新システム開発完了
- (2) 2018年4月初旬予定 : 「くるまの番人」サービス提供開始

4. 「くるまの番人」の主なサービス内容と導入メリット



「くるまの番人」の導入メリット

(1) 車両管理業務の大幅軽減

- ① お問い合わせ窓口を「NCS-BPO サポートデスク」に集約することで、業務の効率化が図れます。
- ② お客様の車両管理部署で対応している車両管理全般をアウトソーシングすることで、人的資源を他のコア業務へシフトさせることができます。
- ③ クラウド上で電子的な承認プロセス（ワークフロー）が利用可能となります。

(2) 車両関連情報管理の効率化

- ① 膨大な情報・データの手作業による処理がなくなり、ヒューマンエラーリスクを回避できます。
- ② 様々な車両経費、車両関連情報がクラウド上にアップロード可能であり、情報処理のワンストップ体制が実現します。

(3) コンプライアンス体制・内部統制面の強化

- ① 期日管理機能により、手続き上の漏れや遅れ、車検切れ、運転免許証有効期限切れなどのリスク回避につながります。
- ② 複数のリース会社との契約リース車両や買取車両も同じシステム内で一元的に管理することで、業務・データの散乱防止が図れ、管理品質の向上とともにコンプライアンス強化につながります。

(4) 車両経費のデータ蓄積と集計

- ① 車両関連費用をクラウド上でデータ登録し、車両情報と紐付けすることができ、様々な情報やデータの横串管理が実現します。

- ②会社単位、使用部署単位、車両単位の車両総経費を自動集計することができ、様々な角度での費用実態把握が可能となります。
- ③車両リース料予算表の作成支援機能を有しています。

【報道機関からのお問い合わせ先】

日本カーソリューションズ株式会社 営業開発部 BPO 推進室 酒井、坂本 TEL 03-5207-2200

以 上